

関西U25アクセラレータープログラム

Re:Vive

THE STARTUP MAKER.

第1期開催報告書

課題感

① スタートアップの挑戦環境

情報面、資金面、人材面で整っておらず、優秀な若手が育つ土壌がない

② 「起業支援」のターゲットが明確化されていない

起業支援の名の下に、スタートアップとスモールビジネスを区別せずに支援をしてしまう。

③ 「場」がない

ここに集まれば、支援を受けられるというような集まれる場やコミュニティがない

④ シードVC、先輩起業家が少ない

日本のリスクマネーの10%しか投下されておらず、シード期に支援してもらえるVCも

ほとんどいないため、挑戦のきっかけがほとんどない。

さらに、結果を出している先輩起業家が少なく、まわりに引き上げてくれる人を見つけにくい。

支援メニュー

関西でのスタートアップ環境を整え、若手が視座を上げあえる文化を醸成することを目的とした
U29向けアクセラレータープログラム

- 課題検証
- ソリューション検証
- プロダクト検証
- マーケット検証
- 資金調達
- 採用支援
- PR支援
- 拠点

概要

- **プログラム期間：9月～12月(4ヶ月間)**

4ヶ月でシードでの調達を目指すプログラム構成。

- **採択企業数：10社**

採択企業には専属メンターとして起業家・VCなどから1人ずつ担当していただき4カ月伴走支援。

- **スポンサー企業数：4社**

運営の資金面、場の提供など。運営の資金面は今後継続のための課題でありキーポイント。

- **トークセッション登壇社数：17社**

東京の先輩起業家・VCなどに登壇いただき、
繋げることで東京で事業をする際、助けてもらえるようにする。

- **参加VC数：14社**

メンタリングに加え、投資相談や審査員などでご協力いただいた。

資金調達

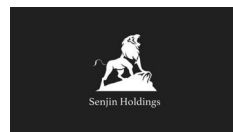


¥110m

採択企業累計調達額

1億1千万円

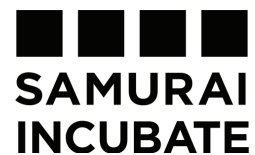
トークセッション登壇企業



トークセッション



メンタリング参加VC



来期に向けて



効果



Kyoto Open Innovation Network

来春からスタートアップ推進部より
関西の若手スタートアップ環境醸成のための
活動を受託予定



Anchor KOBÉ

神戸知的交流拠点Anchorより
若手スタートアップ環境醸成のための
コミュニティマネジャー等の受託予定

2020年度 学びのコミュニティ助成金 成果発表

立命の家inいばらき実行委員会

立命の家 とは

活動目標

- ・ 立命館大学生と小学生の交流を通じた大学生の成長とサークルの発展機会の提供
- ・ 体験活動を通じた小学生への学びの機会の提供
- ・ 大学と地域の連携の教科に貢献すること

立命の家inいばらきとは

地域の小学生に向けた大学生の課外活動体験学習イベント

目的

- ①キャンパス近隣の子どもたちに自ら学ぶ楽しさを知ってもらう
- ②参加した団体の発展につなげる
- ③大学と地域の交流の場を設け地域の発展に寄与



今年度の立命の家inいばらきについて

例年は前スライドの写真のように対面活動下で小学生と交流するイベントを実施していた。

今年度は新型コロナウイルスの流行もあり、対面活動の許可を獲得することも難しく、Zoomを用いたオンラインセミナー形式によるイベント実施を決断。

今年度の立命の家inいばらきについて

- ・今年度は5団体が参加。オンライン開催ということもあり、今までは主にOICの団体に参加の声掛けを行っていたが衣笠やBKCの団体にも声をかけ、新規に参加していただいた団体が2団体もあった。

- ・参加者は12名。

→Zoomでの活動。準備物も各自で用意していただくということで例年の実施よりも参加者負担が大きかったことが起因していると推測。また、コロナ禍の中でチラシの配布という宣伝方法をとることが難しかったことも原因の一つと考える。

参加者アンケートから

企画ごとにそれぞれ参加者アンケートを配布、集計。

①企画は楽しかったですか

43件中43件がはいと回答

②また企画に参加したいですか

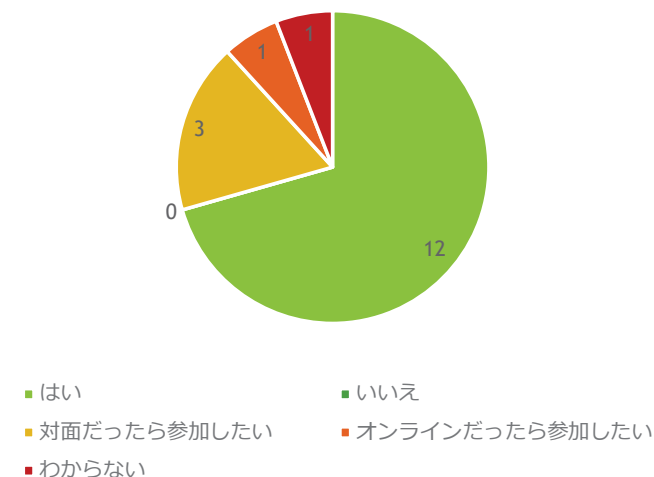
43件中43件がはいと回答。

立命の家inいばらき自体についてもアンケートを集計。

参加者のほとんどから次回も参加したいと思われるイベント実施に成功。

中にはオンラインだったら参加したいという方もおり、オンラインでの開催ならではの良さも確認できた。

次回も参加したいと思いますか。



団体アンケートについて

参加していただいた団体に対してもアンケートを実施し、集計した。

①立命の家inいばらきに参加されていかがだったでしょうか。

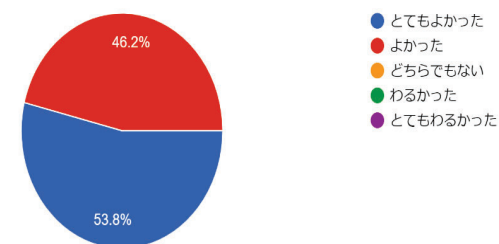
→回答いただいた参加団体の全てから参加して良かったと回答していただけた。

②その理由について教えてください

- ・オンラインでのイベント参加が初めてでよい機会だったので。
- ・学内では数少ない小学生と交流することのできたイベントだったから。
- ・コロナ禍でも最低限の活動の宣伝ができる場として活用することができたので。
- ・この一年を通して後輩の成長を確認することができたので。

→このアンケートから小学生のとの交流、交流を通した大学生の成長、サークルの発展機会の提供という我々の団体目標を達成することができたように思われる。

質問 1 立命の家inいばらきに参加されていかが...うか。ご自分の考えに近いものをご回答ください。
13 件の回答



今後の活動について

- ・ 今後は学生オフィスの方々のお力も借りつつ、弊団体の活動を継続して実施できるよう新1回生、2回生に活動内容について広報を行い、新メンバーを確保したい。

- ・ また団体アンケートの方で開催形式についてオンラインならではの良さという部分もあったが、コミュニケーションが取りづらく、次回は対面での開催を希望する団体が多く、来年度は状況にも左右されるが対面でのイベント実施をしたいので対面活動の許可獲得を目指す。